

安全確保：児童保護カリキュラム

Keeping Safe: Child Protection Curriculum

Japanese / 日本語

親・養育者向け情報

安全確保：児童保護カリキュラム(KS:CPC)とは世界クラスの研究結果に基づいた児童安全カリキュラムであり、虐待行為を認識し、信頼できる大人に伝え、適切・不適切な身体的接触について理解し、自分の安全を確保するための方法を子どもや青少年に対して教えます。KS:CPCは、総合訓練課程を修了した教育者が生徒に対して行います。

テーマ

カリキュラムは2つの主要テーマに基づいています。

- 私たちすべてに、安全を確保する権利があること
- 信頼する人々に話をすることが、自身の安全確保に役立つこと。

中心事項

テーマは4つの中心事項を通して提起されます。

1. 安全を確保する権利
2. 関係
3. 虐待の認識・報告
4. 保護方策

概念

以下の表は各学年に合わせた概念を説明します。各活動は年齢および発達的面から適切な方法にて提起されています。

	幼児期: 3~5歳	小学校低学年: 5~7歳	小学校中学年: 8~10歳	中学生: 11~14歳	青年期: 15歳以上
安全を確保する権利	感情 安全性と危険性 注意すべき兆候 緊急事態	感情 安全性と危険性 注意すべき兆候 緊急事態 危険な行為	感情 安全性と危険性 注意すべき兆候 緊急事態 危険な行為 性的手なづけ	安全性と危険性 注意すべき兆候 緊急事態 危険な行為 性的手なづけ 心理的圧力と洗脳操作	安全性と危険性 注意すべき兆候 危険な行為 性的手なづけ 心理的圧力と洗脳操作 ポジティブ心理学
関係	必要事項と欲求事項 自己意識と関係 信頼とネットワーク	必要事項と欲求事項 公平と不公平 子どもの権利 自己意識と関係 いじめ 支配力 信頼とネットワーク	権利と義務 自己意識と関係 性別による偏見 いじめ サイバー上のいじめ 支配力 策略と買収 信頼とネットワーク	権利と義務 同意 健康的・不健康的な関係 性別による偏見 いじめ サイバー上のいじめ 支配力 信頼とネットワーク	権利と義務 同意 健康的・不健康的な関係 性別による偏見 いじめ サイバー上のいじめ 支配力 セクシャルハラスメント 信頼とネットワーク
虐待の認識・報告	体の部分の解剖学的名称 公的・個人的 安全な接触と危険な接触 虐待の認識 安全な秘密と危険な秘密 脅し	体の部分の解剖学的名称 公的・個人的 安全な接触と危険な接触 虐待の認識 安全な秘密と危険な秘密 策略と信頼	体の部分の解剖学的名称 公的・個人的 安全な接触と危険な接触 虐待と放棄 安全な秘密と危険な秘密 サイバー・セーフティ オンラインによる性的手なづけ 家庭内・家族間暴力	体の部分の解剖学的名称 公的・個人的 虐待と放棄 交際相手による暴力 サイバー・セーフティと悪用 性的メッセージや写真を携帯電話で送る 家庭内・家族間暴力 第三者による介入	プライバシー 個人の健康 虐待と放棄 性的手なづけ 交際相手による暴力 サイバー・セーフティと悪用 性的メッセージや写真を携帯電話で送る 家庭内・家族間暴力 第三者による介入
保護方策	問題解決方法 自己主張をする 快活である 根気強さを持つ ネットワークの見直し	問題解決方法 自己主張をする 快活である 根気強さを持つ ネットワークの見直し	問題解決方法 自己主張をする 快活である 根気強さを持つ ネットワークの見直し 地域ネットワーク	問題解決方法 快活である 根気強さを持つ ネットワークの見直し 地域ネットワーク	問題解決方法 快活である 根気強さを持つ ネットワークの見直し 地域ネットワーク